

平成15年度一般会計歳入歳出予算の執行状況 (3月31日現在)

◆歳入

(単位：万円)

♥歳出

(単位：万円)

科目	当初	補正額	予算額	収入済額
町税	98,424	7,991	106,415	103,722
分担金・負担金	9,738	△345	9,393	9,148
繰越金	10	8,023	8,033	8,033
繰入金	57,442	△49,687	7,755	0
使用料・手数料	7,738	8	7,746	7,977
諸収入	2,940	1,932	4,872	4,771
財産収入	348	1,705	2,053	2,037
寄附金	1	486	487	387
地方交付税	302,000	23,885	325,885	325,885
町債	137,730	9,270	147,000	6,570
県支出金	56,191	14,221	70,412	15,572
国庫支出金	64,195	2,003	66,198	45,481
地方譲与税	8,059	1,056	9,115	9,115
その他	19,899	3,911	23,810	23,810
計	764,715	24,459	789,174	562,508

科目	当初	補正額	予算額	支出済額
民生費	162,081	2,032	164,113	154,420
土木費	157,786	△870	156,916	111,624
総務費	98,969	5,410	104,379	90,381
公債費	101,091	△3,180	97,911	97,910
農林水産業費	52,860	19,461	72,321	38,769
教育費	64,815	△220	64,595	59,717
衛生費	56,041	△1,056	54,985	53,259
消防費	46,809	△1,114	45,695	42,477
商工費	11,642	90	11,732	10,390
議会費	11,764	△558	11,206	11,142
災害復旧費	1	4,493	4,494	4,360
労働費	156	△29	127	105
予備費・その他	700	0	700	0
計	764,715	24,459	789,174	674,554

平成15年度町一般会計 予算の下半期財政事情

町では、一般会計予算の執行状況や町の財産の内訳などを皆さんに知っていただくことと、五月と十一月の年一回、財政事情の公表を行っています。今回お知らせするのは、平成十五年一般会計予算の三月三十一日現在の執行状況です。皆さんが納めた税金や国、県からの交付金などがいくらか入っているのか、魅力ある町づくりのためにいくらか使われているのを見てみましょう。この中には、四、五月の出納整理期間中の収入と支出は含まれていません。



老朽化に伴い、今年3月に建て替えられた第1分団屯所

魅力ある町づくりに78億円 民生費が16億円でトップ

歳入の地方交付税 前年比で7%減
歳入では、町が自ら徴収、収納できる自主財源が、歳入全体の一八・六%に当たる十四億六千七百五十四万円。これに対し、国や県から入る交付金などの依存財源は八一・四%で、六十四億二千四百二十万円となっています。項目別に見ると、町税や固定資産税など、皆さんから納めていた町税が十億六千四百五十五万円（前年度同期より三・三%減）。歳入の中で四一・三%と最も大きな割合を占めている地方交付税（国から配分されている税金）は三十二億五千八百八十五万円（同六・九%減）となっています。

福祉の向上を図る 民生費が9%増
歳出では、医療費や児童手当の給付事業など町の福祉向上に使われる民生費が最も多く、歳出全体の二〇・八%

平成十五年の一般会計予算は、当初七十六億四千七百五十七万円スタートしました。その後七回の補正が行われ、二億四千四百五十九万円を追加。下半期の予算総額は前年度同（七

十八億二千八百五十三万円）と比べて〇・八%増の七十八億九千七百七十四万円となっています。歳入歳出の主な項目ごとの執行状況や町有財産の増減、内訳などを表で紹介いたします。

町有財産の内訳

区分	内訳・単位	9月30日時点	3月31日現在	増減
土地	行政財産 (㎡)	1,206,230	1,197,869	△8,361
	普通財産 (㎡)	11,393,450	11,397,240	3,790
	のち山林 (㎡)	8,106,829	8,100,866	△5,963
	立木推定蓄積量 (㎡)	237,531	237,010	△521
建物	行政財産 (㎡)	97,728	97,622	△106
	普通財産 (㎡)	5,494	5,466	△28
物品	町有自動車 (台)	58	58	0
出資証券	株券・出資金 (万円)	13,247	12,697	△550
基金	財政調整基金 (万円)	60,416	60,416	0
	その他の基金 (万円)	211,525	216,060	4,535

※土地・建物の「行政財産」とは、学校やその敷地など、使用目的が決められている財産のことをいいます。これに対し「普通財産」とは、使用目的が決められていない財産です。

町債の現在高

総額90億2,722万円

財務省	44億56万円
郵政公社	22億620万円
公営企業金融公庫	9億549万円
金融機関	4億5,135万円
市町村職員共済組合など	3億2,507万円
その他	7億3,855万円

町債とは…

大規模な建設事業など、多額の財源が必要な事業を行うため借りるお金です。資金には財務省などから借りる政府資金と、金融機関などから借りる民間資金があり、15年度借り入れの町債は7割が政府資金、3割が民間資金です。借り入れの際には将来の財政運営への影響などを慎重に考慮して、議会の議決や県知事などの許可を得て行っています。

に当たる十六億四千百十三万円（前年度同より八・七%増）となっています。次に多いのは、土地区画整理事業など、生活基盤の整備に使われる土木費が歳出の一九・九%で十五億六千九百十六万円（同七・〇%減）。続いて総務費の十億四千三百七十九万円（同三・六%増）、町の借入金返済に充てる公債費の九億七千九百一十一万円（同一・三%減）の順となっています。項目別の主な事業は次のとおりです。

▽民生費：民間保育所運営委託費に二億二千五百二十六万円、児童手当給付費に七千三百五十二万円、重度心身障害者医療費に四千六百七十二万円
▽土木費：柳沢北浜地区土地区画整理事業に七億六千二百二十万円、町営住宅柳沢団地建替事業に二億一千三百四十八万円
▽農林水産業費：漁業集落環境整備事業に二億五百万円
▽災害復旧費：水産施設災害復旧事業に一千七百七十五万円
▽消防費：第一分団屯所建設事業に二千六百七十八万円